

2021/8/31

厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(久松班)

Summary of Surveillance Epidemiology of Coronavirus Under Research Exclusion (**SECURE-IBD**)

JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE MEMBER

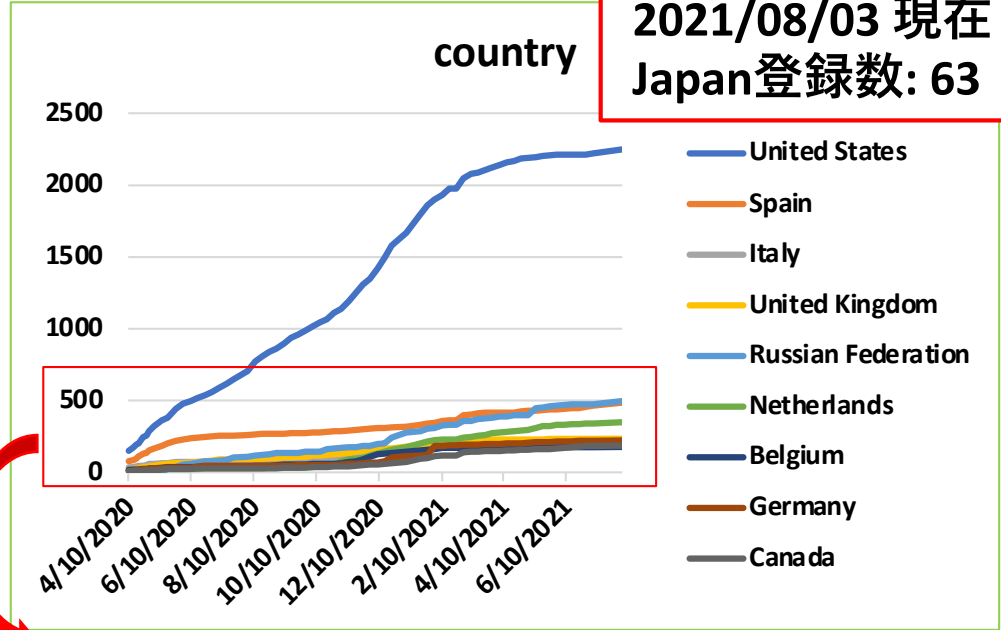
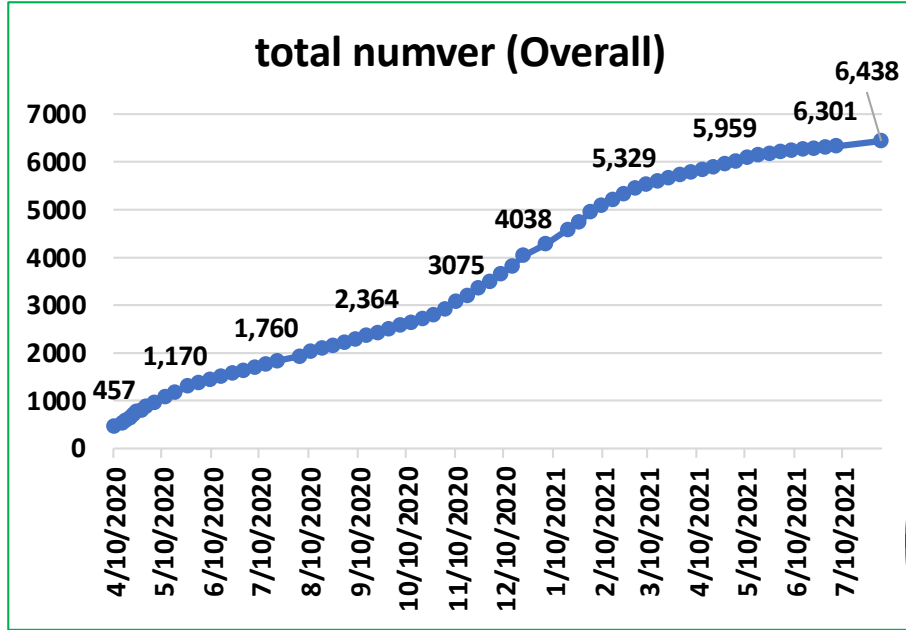
松本主之 松岡克善 松浦 稔 大宮直木
飯島英樹 平井郁仁 石原俊治 仲瀬裕志
久松理一

Brenner EJ, Ungaro RC, Colombel JF, Kappelman MD.
SECURE-IBD Database Public Data Update.
covidibd.org. Accessed on May /31/2021.

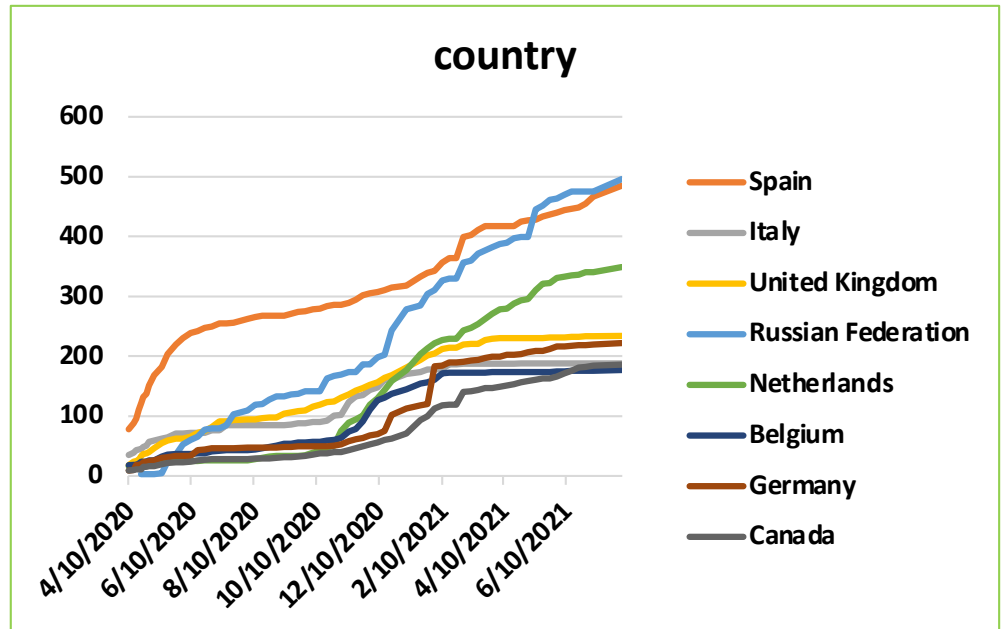
COVID19感染IBD患者登録数の推移

登録数上位9カ国

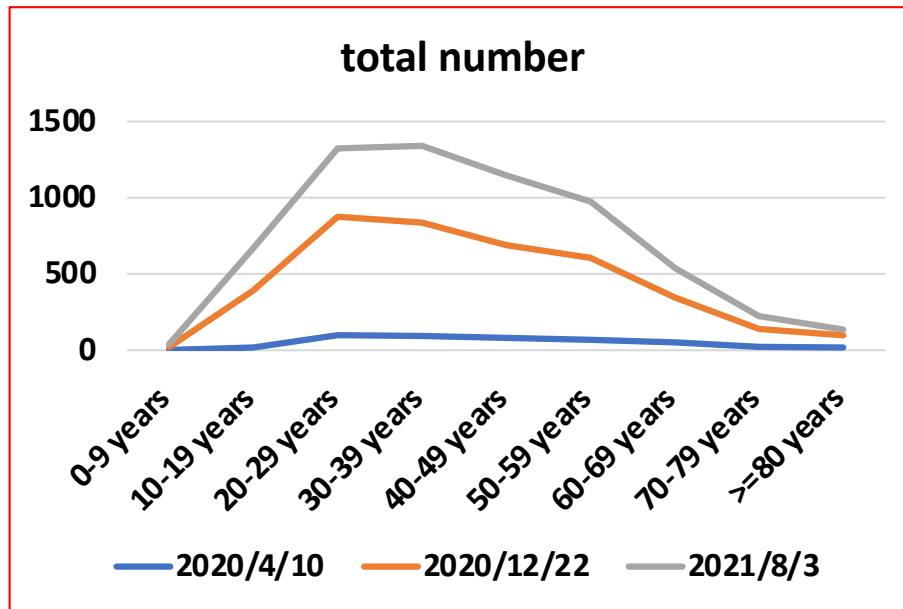
2021/08/03 現在
Japan登録数: 63



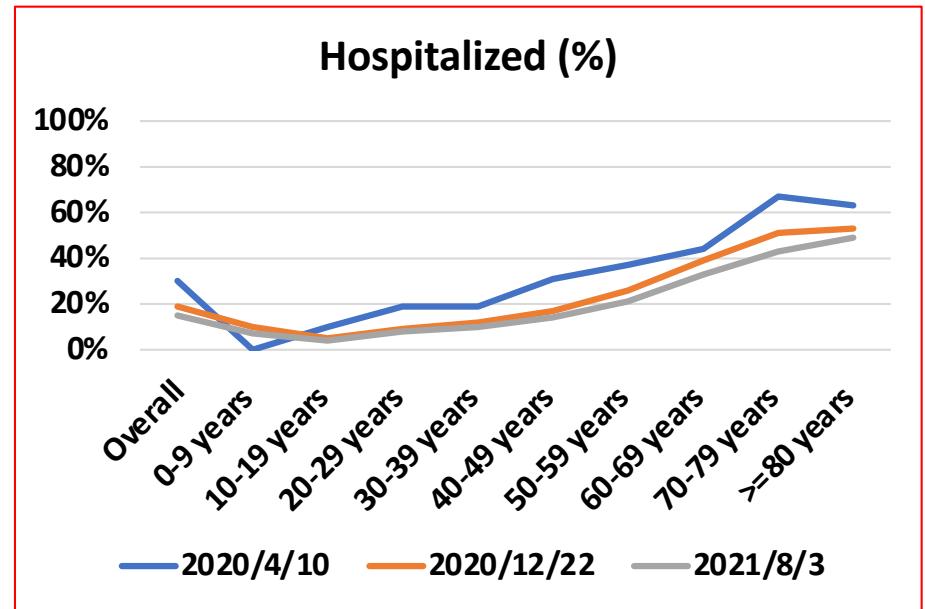
- COVID-19感染IBD患者の新規登録数が各国とも減っている。
- データ更新の頻度が1週間毎から1か月毎に変更となっている。



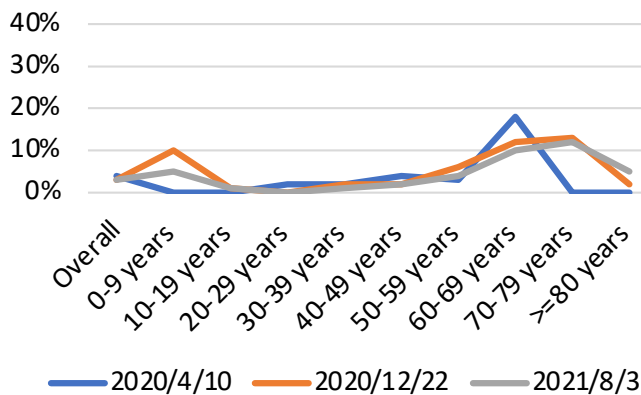
感染患者の年齢分布



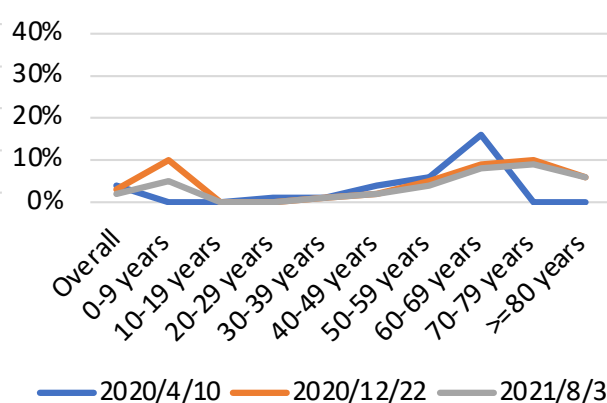
入院患者年齢分布



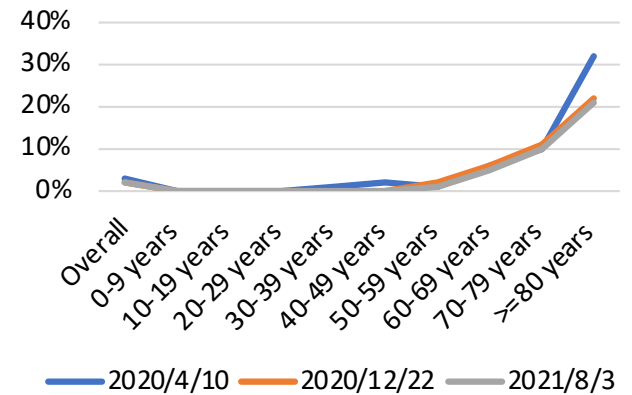
ICU (%)



Ventilator (%)

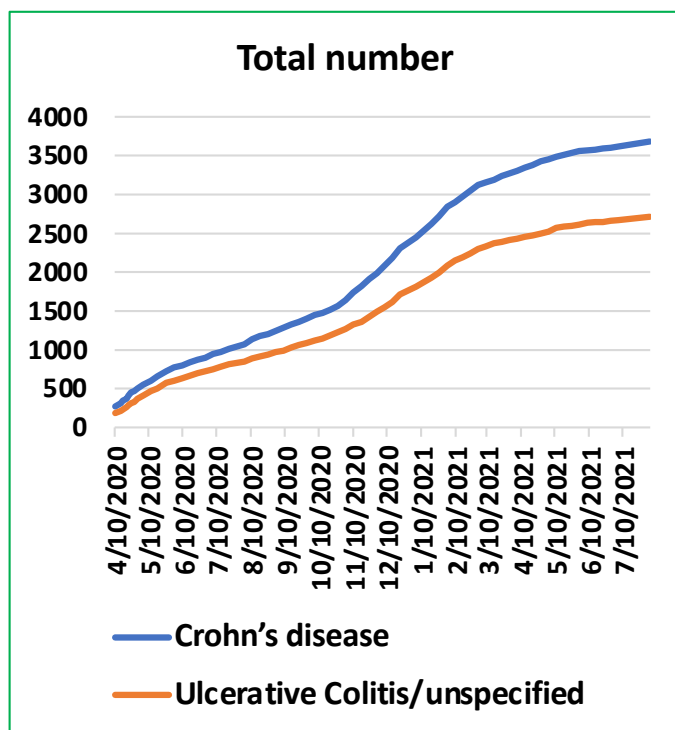


Death (%)

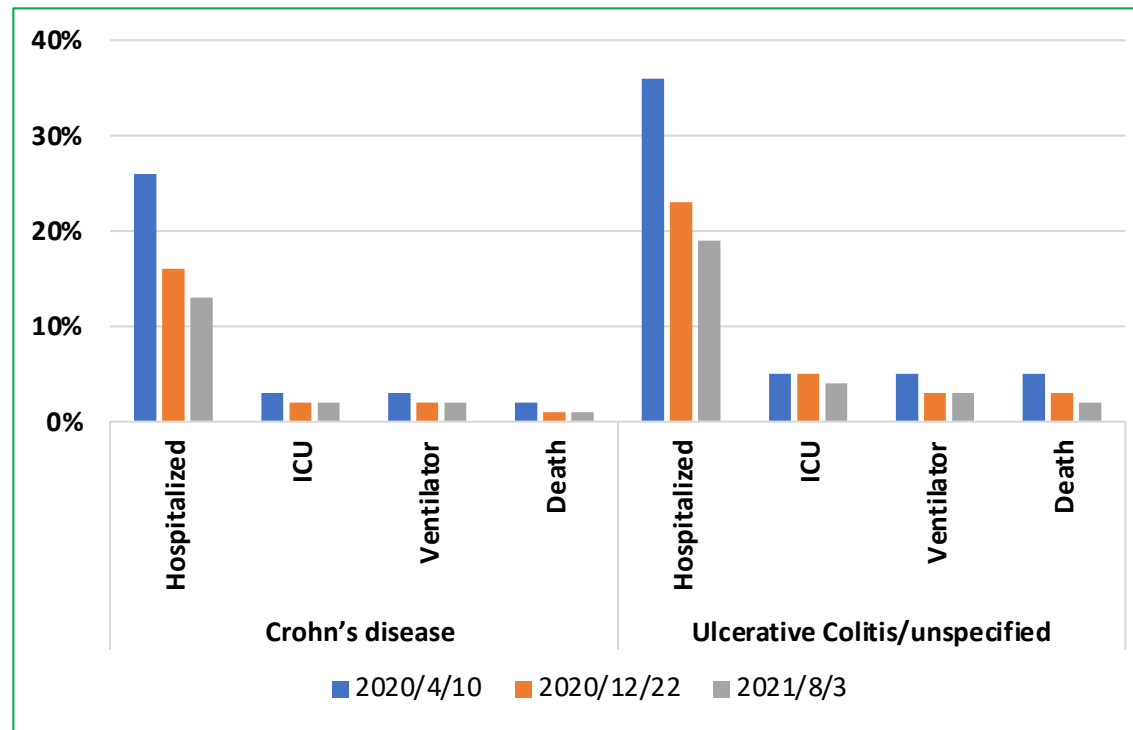


- 0-9歳は母数が少ないため評価が難しい。
- 高齢者の高い死亡率は現在も減少しておらず、60歳以上で高値となる。
- その一方で、高齢者の入院率は低下傾向である。

疾患別患者数

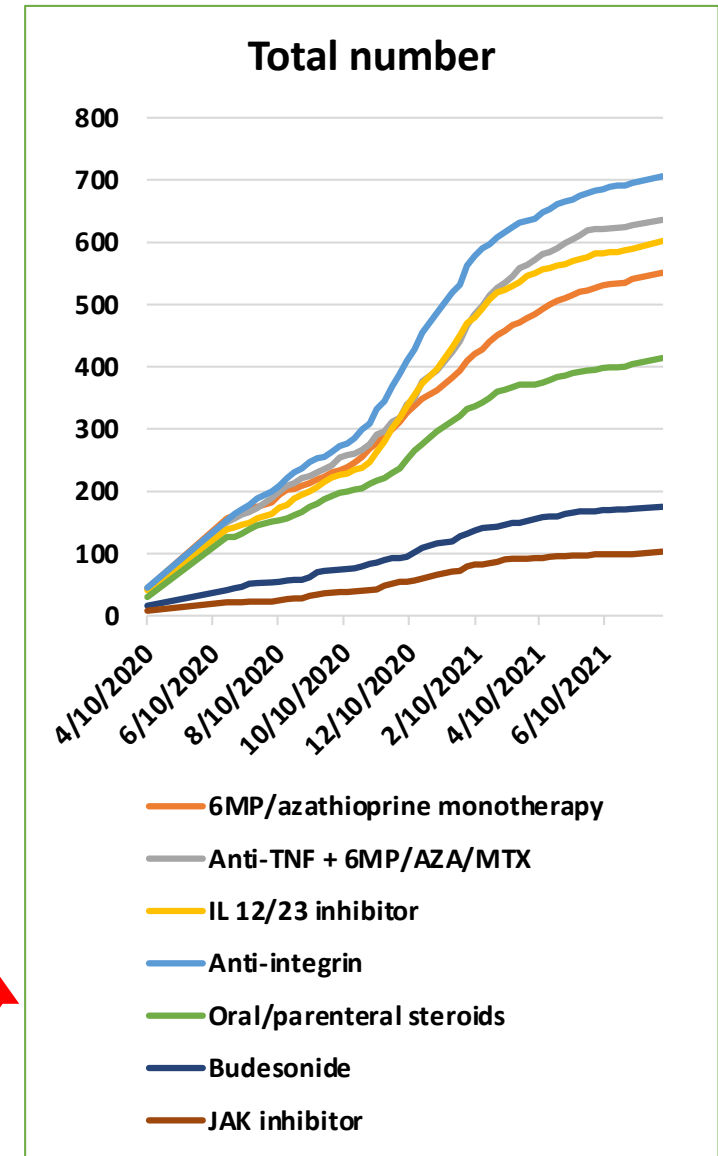
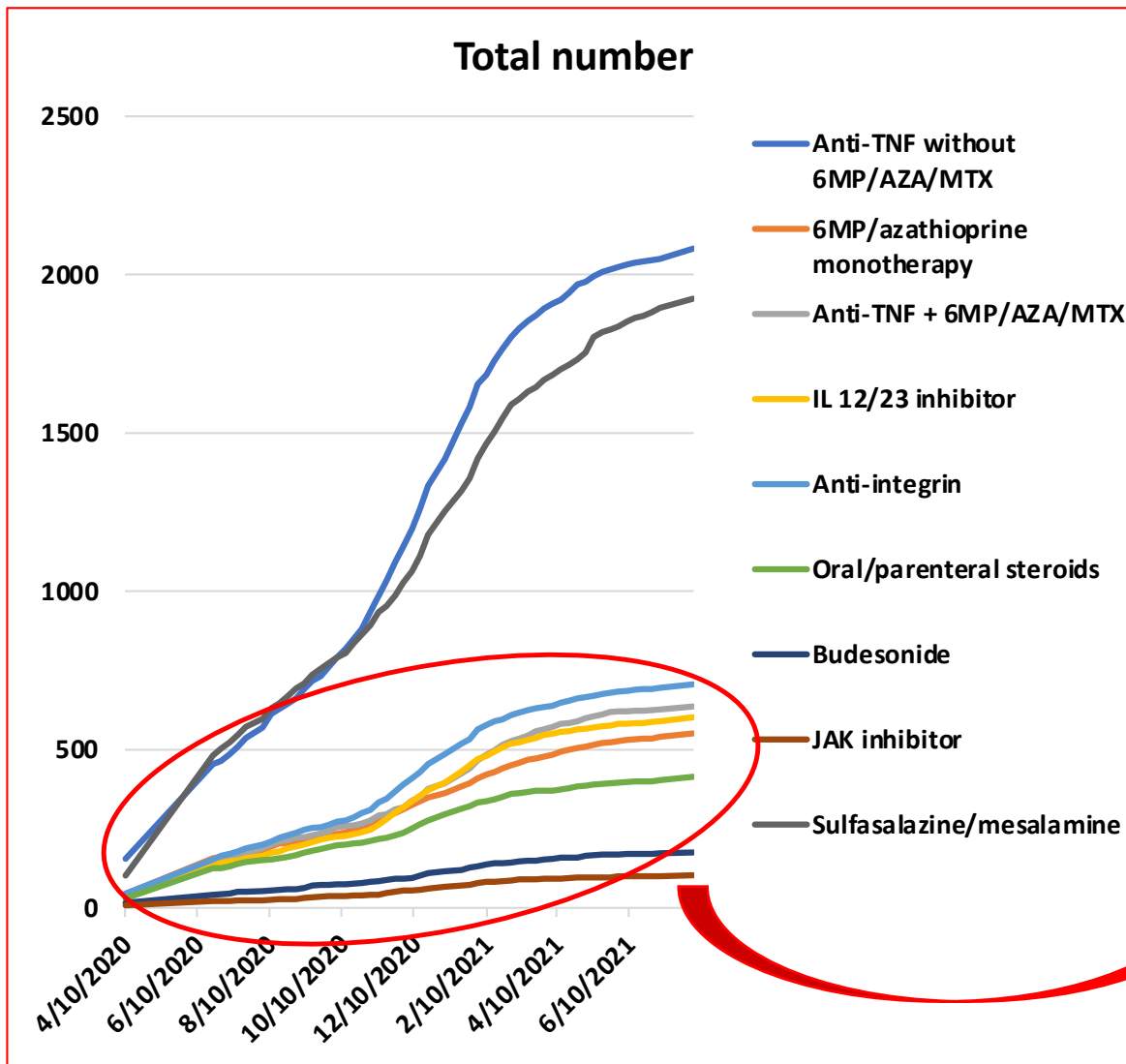


疾患別重症度の割合



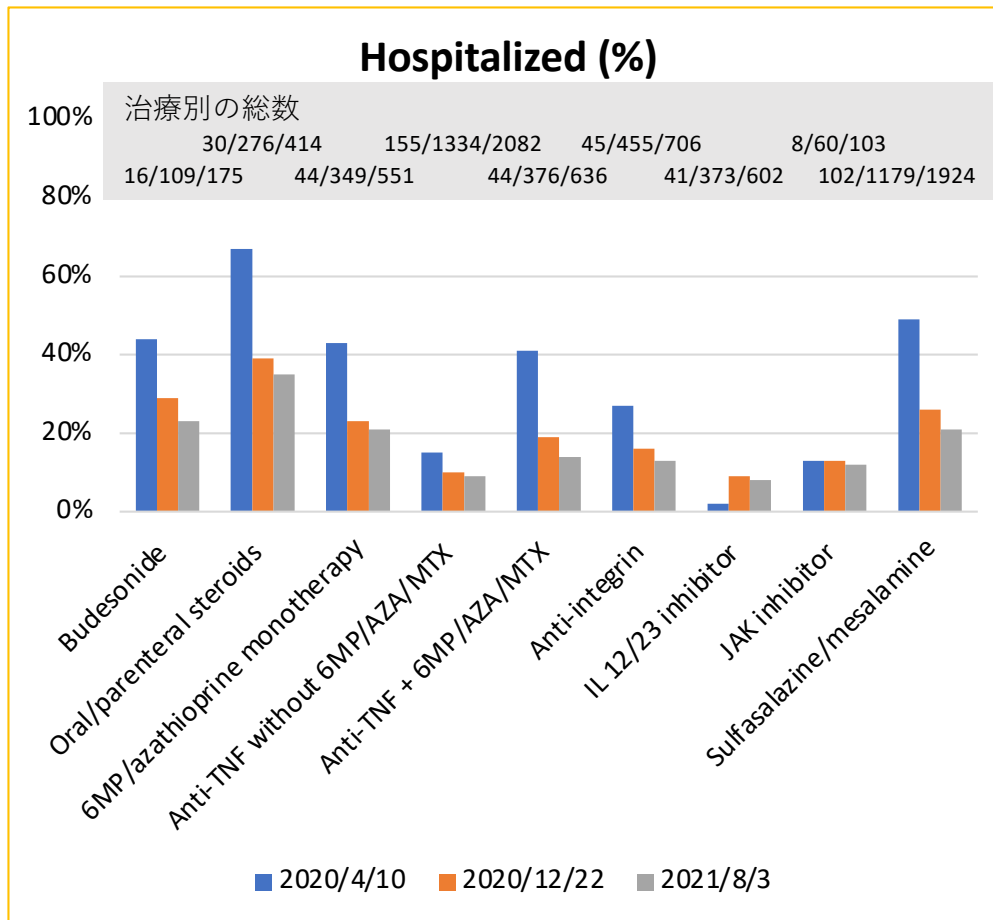
- 入院率、ICU管理率、人工呼吸器管理率、死亡率に関して、その差は大きくないものの、クローン病よりも潰瘍性大腸炎の方が高値が続いている。

治療別の患者数

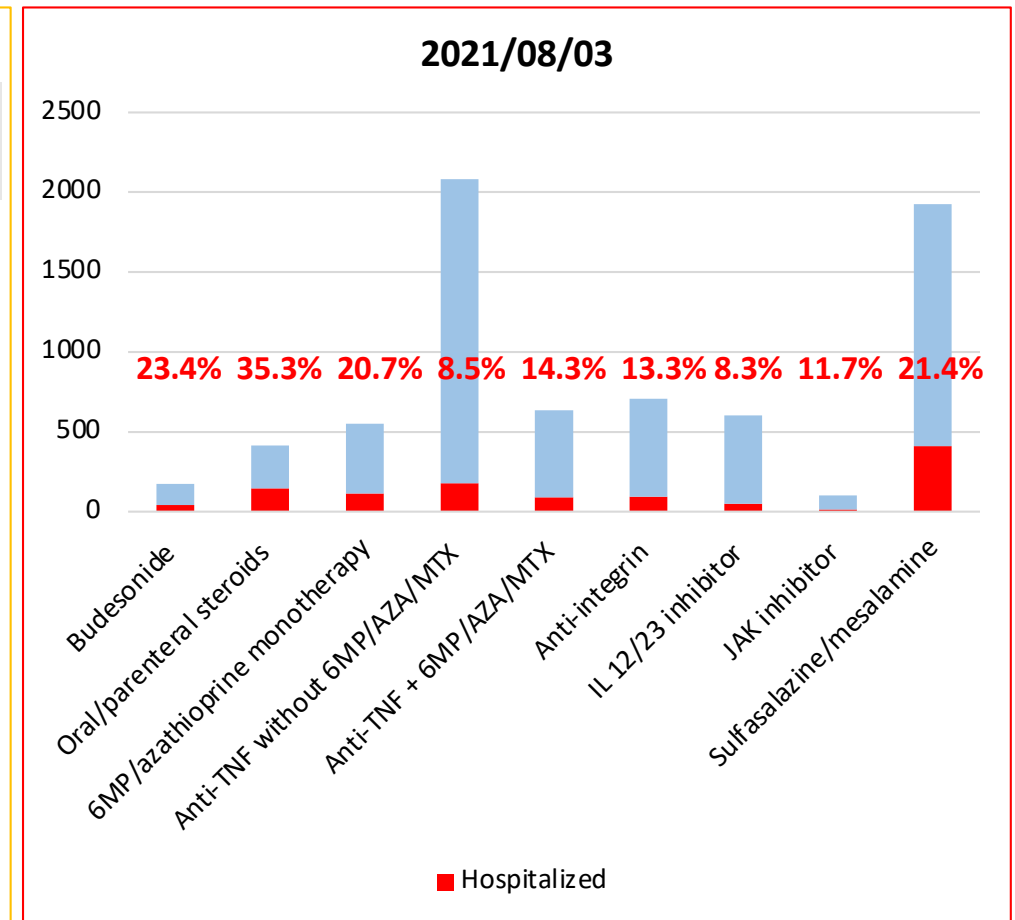


➤ **Anti-TNF without 6MP/AZA/MTX と Sulfasalazine/mesalamineの登録数は多く、Budesonide と JAK inhibitorの登録数が少ない傾向は変わらない。**

治療別の入院率の推移

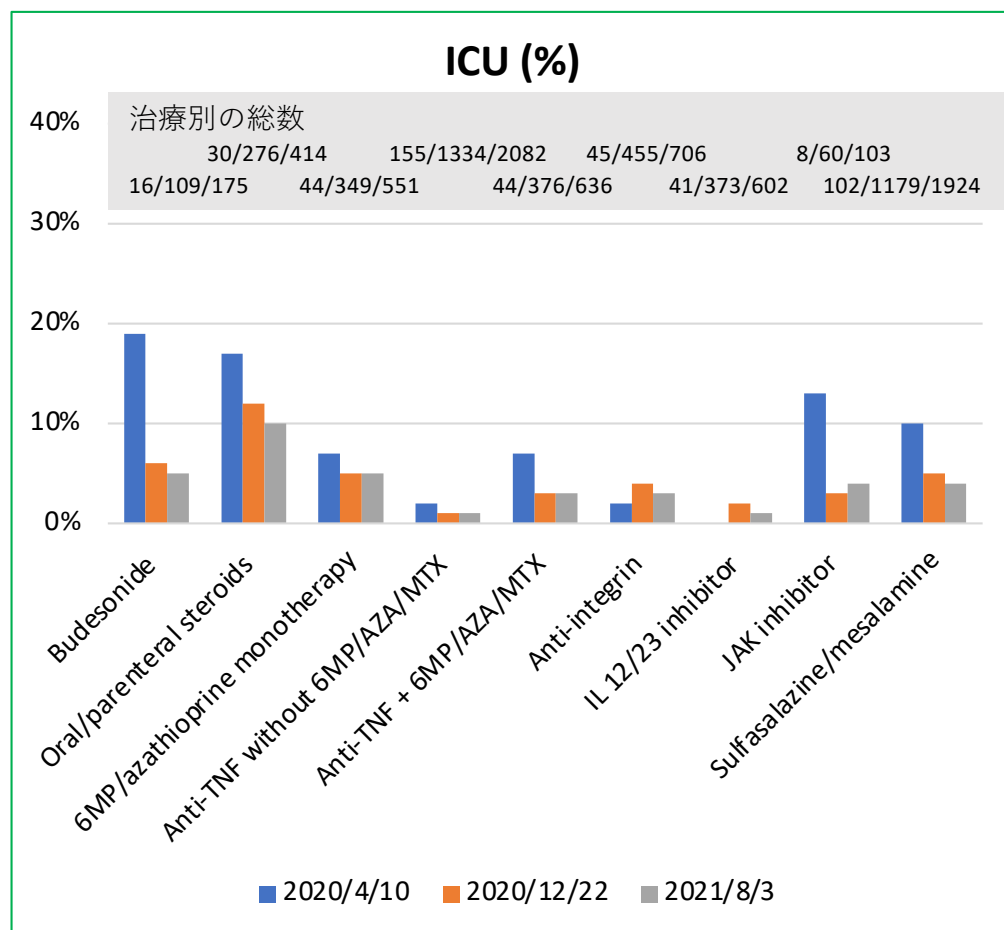


治療別の総数と入院率

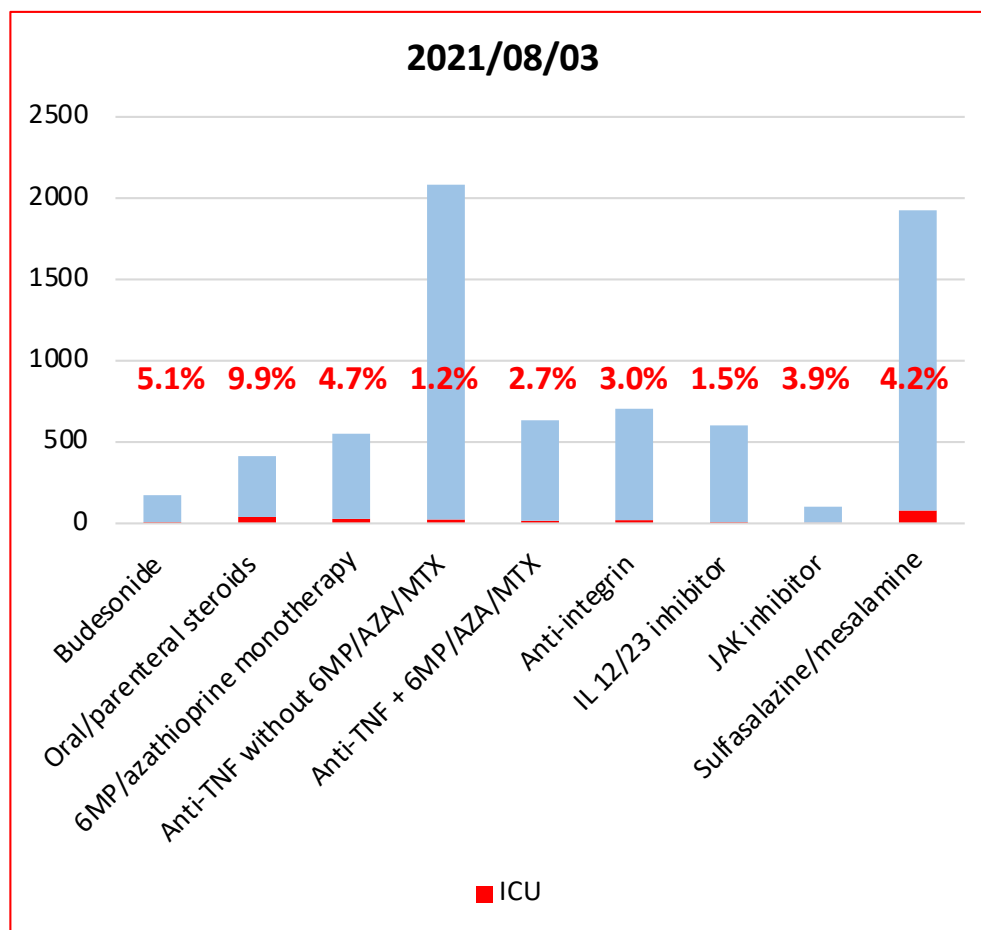


- 入院率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値である。
- Sulfasalazine/mesalamineの入院率は比較的高値であるが、併存薬の情報がないため単剤のリスクに関しては言及できない。

治療別のICU管理率の推移

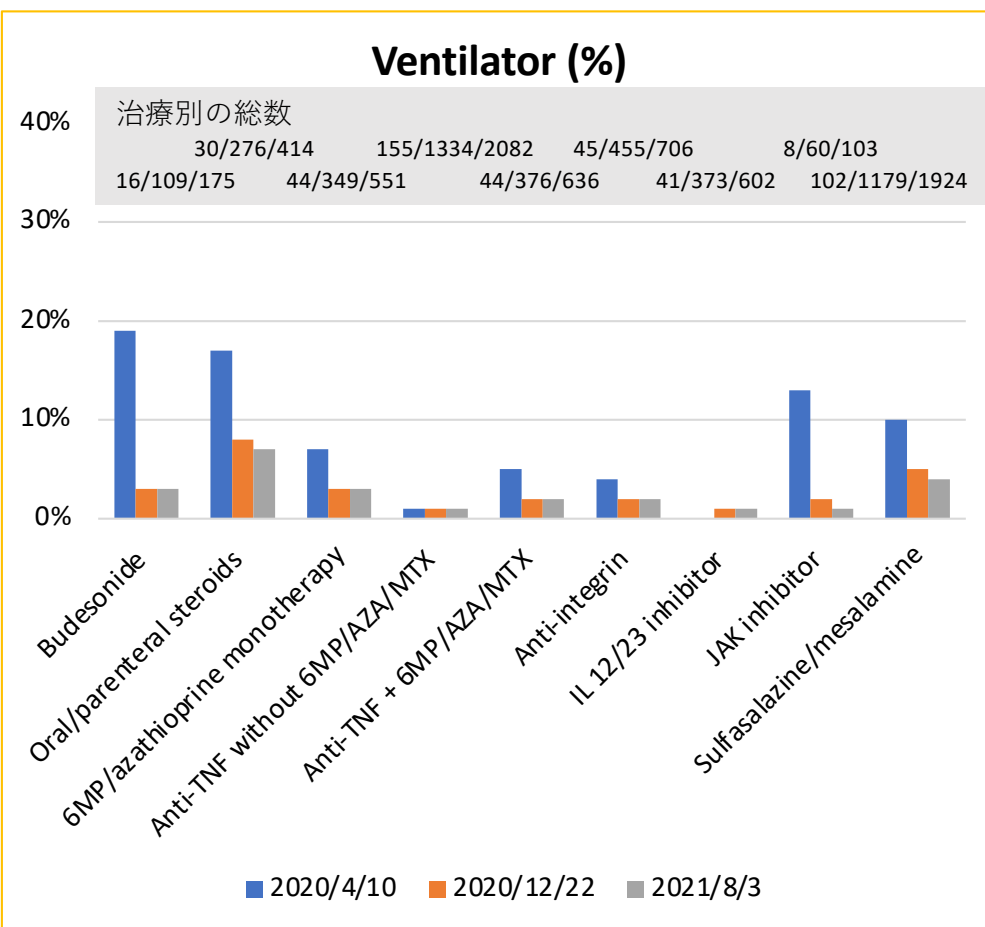


治療別の総数とICU管理率

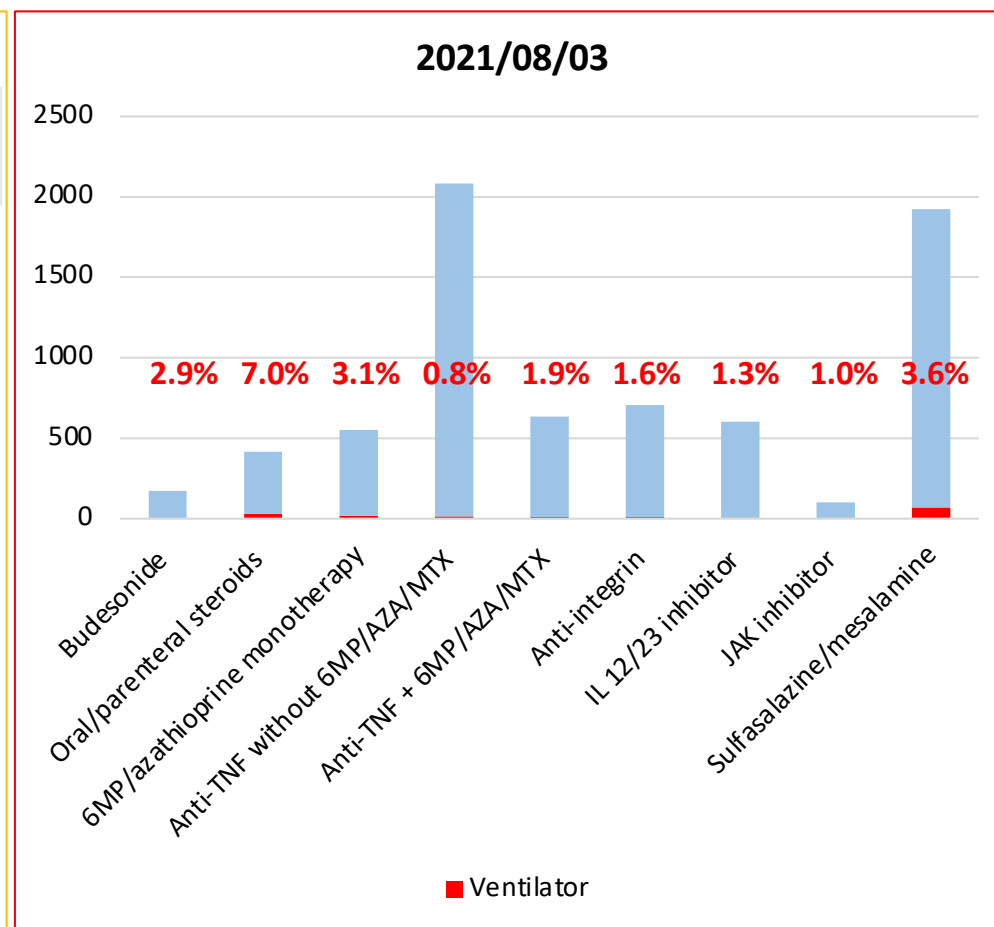


- ICU管理率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXやIL 12/23 inhibitorで低値である。
- Sulfasalazine/mesalamineのICU管理率は比較的高値であるが、併存薬の情報がないため単剤のリスクに関しては言及できない。

治療別の人工呼吸器管理率の推移

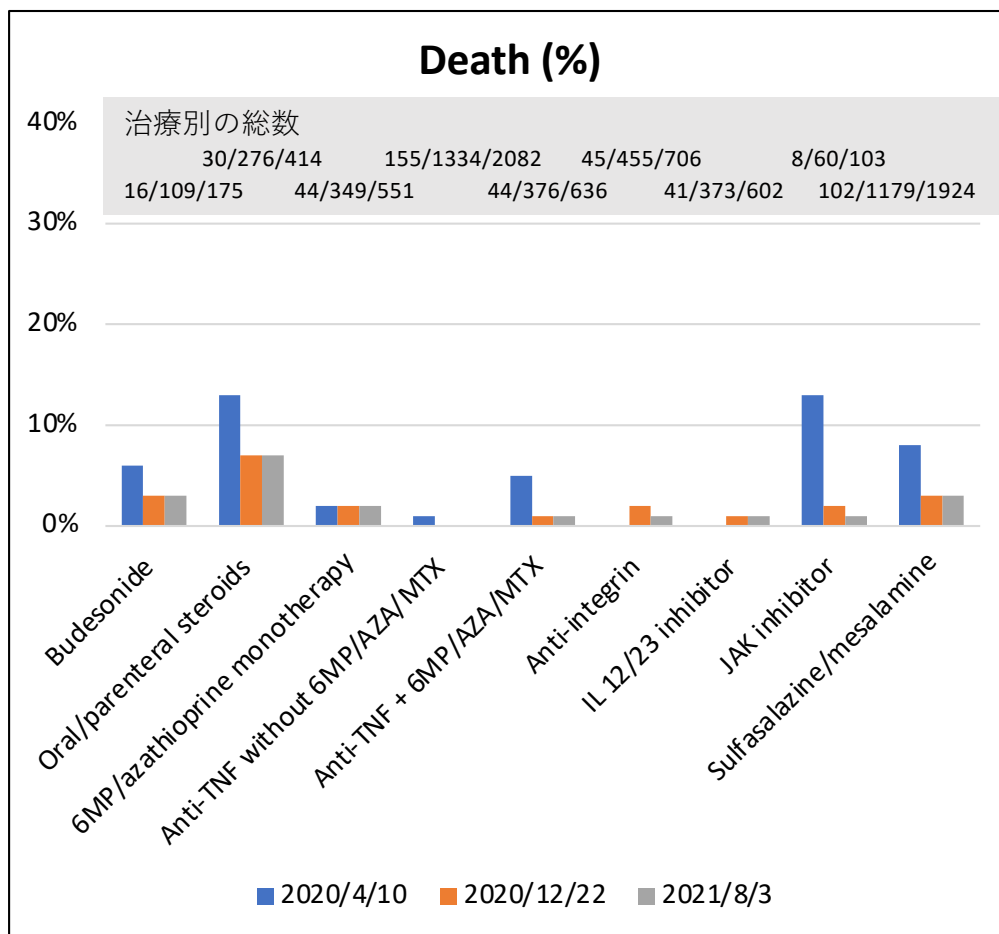


治療別の総数と人工呼吸器管理率

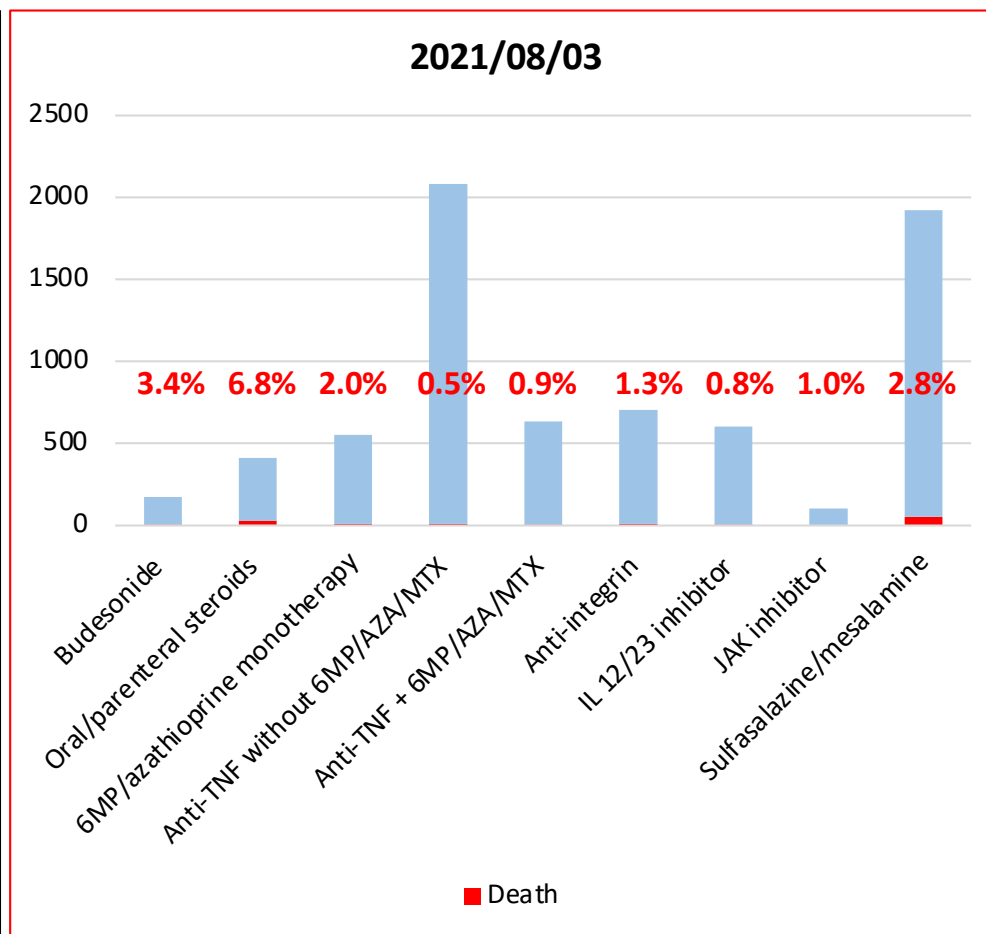


- 人工呼吸器管理率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXで低値である。
- Sulfasalazine/mesalamineの人工呼吸器管理率は比較的高値であるが、併存薬の情報がないため単剤のリスクに関しては言及できない。

治療別の死亡率の推移



治療別の総数と死亡率



- 死亡率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXで低値である。
- Budesonideの死亡率はOral/parenteral steroidsと比較すると低値であるが、他の治療よりは高値である。
- Sulfasalazine/mesalamineの死亡率は比較的高値であるが、併存薬の情報がないため単剤のリスクに関しては言及できない。